

# 学校は、今…

SCHOOL REPORT 16

自然とふれ合う  
環境教育の取り組み

各学校では、さまざまな教科や総合的な学習の時間、学校行事などで、学校の周辺や校区の自然を生かした活動に取り組んでいます。今回は、環境教育の取り組みをご紹介します。

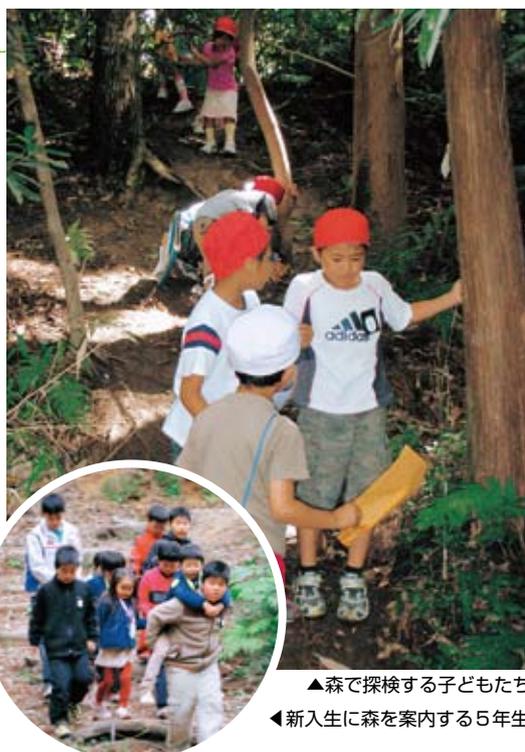
●学校教育課 ☎ 23局 3679

## かんべ 神戸っ子の森(神戸小学校)

神戸小学校の東に隣接する雑木林は、ずっと昔から子どもたちに親しまれ、「神戸っ子の森」と呼ばれています。鬼ごっこや基地作りを楽しむ遊びの場だけでなく、リコーダーや本読みを練習する学習の場としても親しまれてきました。

近年、害虫や台風による倒木や雑木の繁茂が目立つようになってきましたが、平成18年度から毎年PTAの皆さんによる整備作業が行われ、神戸っ子の森が再生しました。今では、森の広場に続く丸木の階段やターザンロープ、ブランコなどが新しく設置され、子どもたちの楽しげな声が響いています。子どもたちに、この森の自慢を尋ねると、「トカゲやカタツムリがいっぱいいる」「探検ができる!」など、笑顔いっぱいでお答えしてくれました。

神戸っ子の森は、自然と触れ合い、環境について学べる大切な場所となっているようです。



▲森で探検する子どもたち  
◀新入生に森を案内する5年生



▲ロッククライミングに挑戦



▲芦ヶ池とサンテパルクを眺望

## 伝統の登山集会(野田小学校)

野田小学校で、毎年11月に行う登山集会は、今年で37回目を迎える伝統行事です。

当日は、全校児童が、学年男女混合の10名程度の縦割りグループで学校を出発し、平沢池を經由して標高178mの小トギス山を目指します。そして、サンテパルクへ至る約4kmのコースを、1時間半かけて歩きます。

参加した子どもたちからは、「疲れて足が動かなくなったとき、見上げると空がよく見えました」「頂上から見たサンテパルクはとても小さかったです」「ロッククライミングもできて、楽しい登山集会でした」などの感想が寄せられました。

みんなで助け合いながら登山し、心身を鍛えるだけでなく連帯感も強めている子どもたち。山頂から野田校区を見渡し、自分たちの郷土にさらに愛着を持って欲しいと願っています。